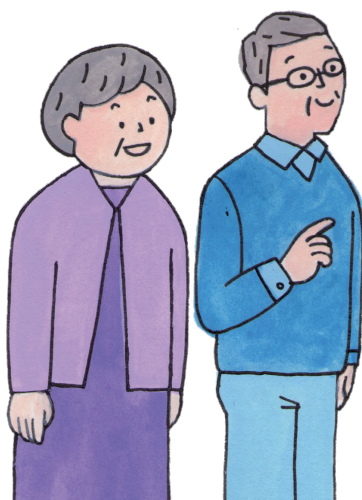
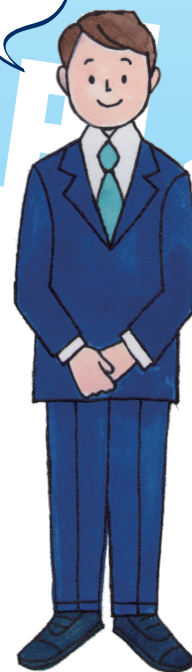
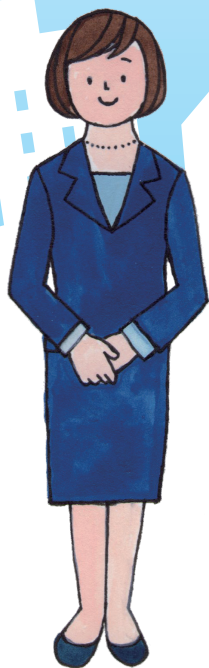


# GPIFって、なに？

さまざまな  
疑問に  
お答えします



年金積立金管理運用独立行政法人  
Government Pension Investment Fund





## はじめに

日本の未来を支えるための、公的年金。  
このパンフレットでは、  
その大切なお金の一部をお預かりしている私たちが  
どのような活動をしているのか、  
国民のみなさまにわかりやすくご説明いたします。

### 公的年金って？

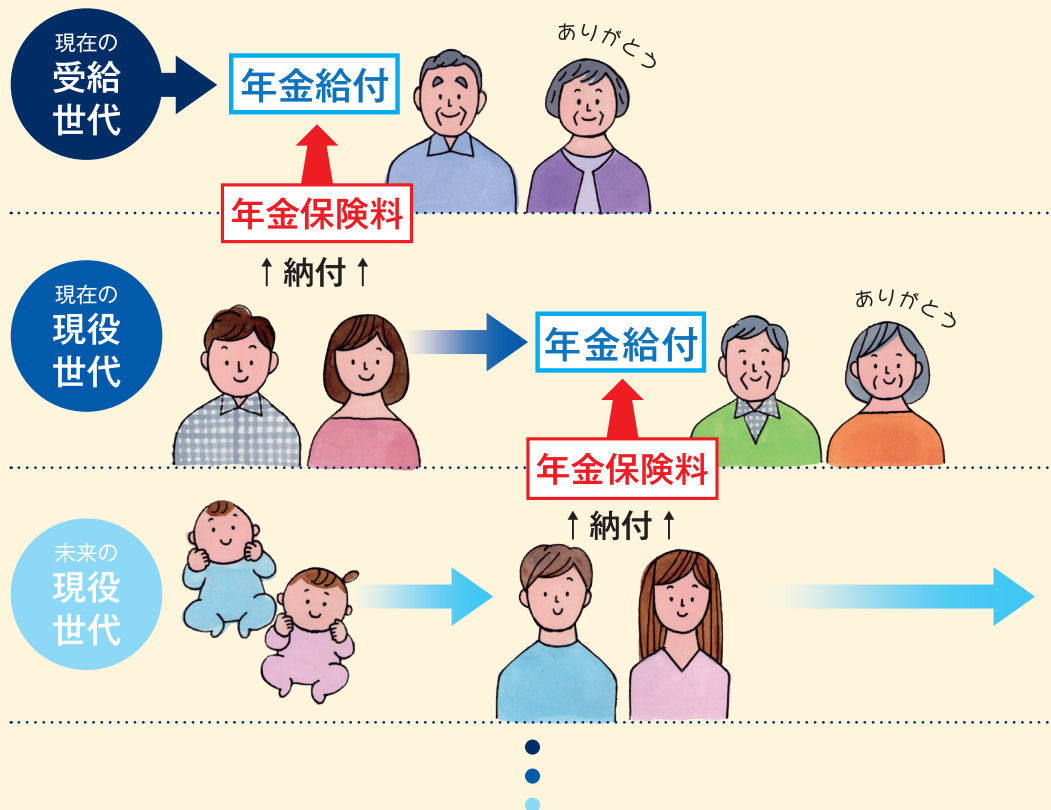
「歳をとって働けなくなる」「病気や事故で障害を負う」「一家の大黒柱を亡くす」などの人生のリスクに備えて、国民みんながお金を出し合う助け合いのしくみです。特に日本の社会においては、高齢者の暮らしを生涯にわたって支えるものとして、とても大切な役割を果たしています。

※当パンフレットは、国民のみなさまにわかりやすくお伝えするために、一部情報を簡略化しています。画像はすべてイメージです。



## まずは、日本の年金制度について、 改めて確認してみましょう。

日本では、高齢者の生活を  
現役世代が「支える」制度を採用しています。



現役世代が納める保険料で、その時々の高齢者世代に年金を給付しています(賦課方式)。つまり、現役世代が将来受け取る年金は、その子どもや孫たちの世代が納める保険料でまかなわれることになります。自分が納めた保険料が将来そのまま戻ってくるしくみ(積立方式)ではありません。

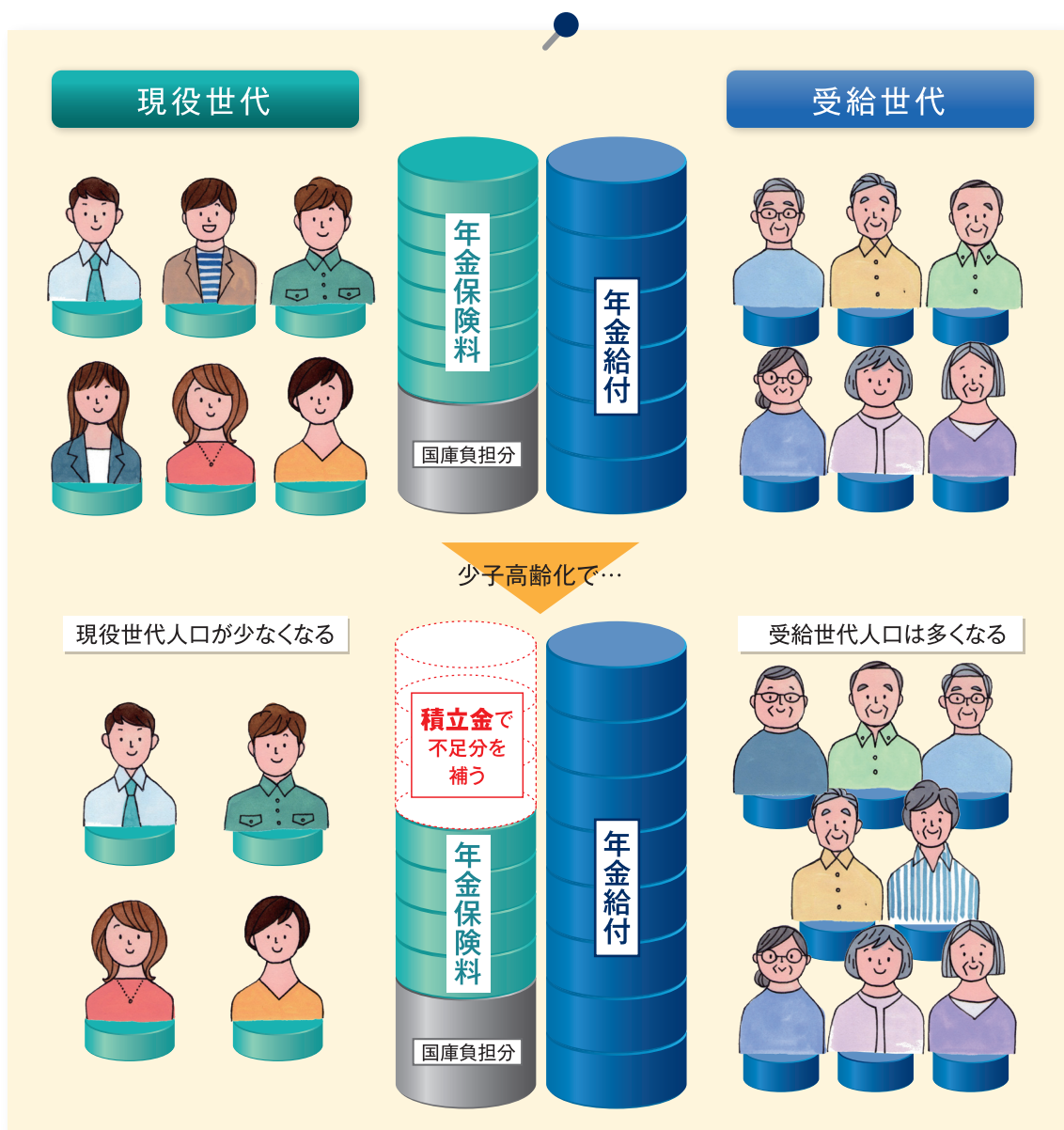
人口が減っている現代。どんな心配があるのでしょうか？





## 日本の人口が減ると、 年金はどうなるのでしょうか？

このまま少子高齢化が進むと、将来の現役世代の負担が大きくなりすぎてしまうかもしれません。



公的年金制度が続くように、  
「積立金」で不足分を補うしくみになっています。

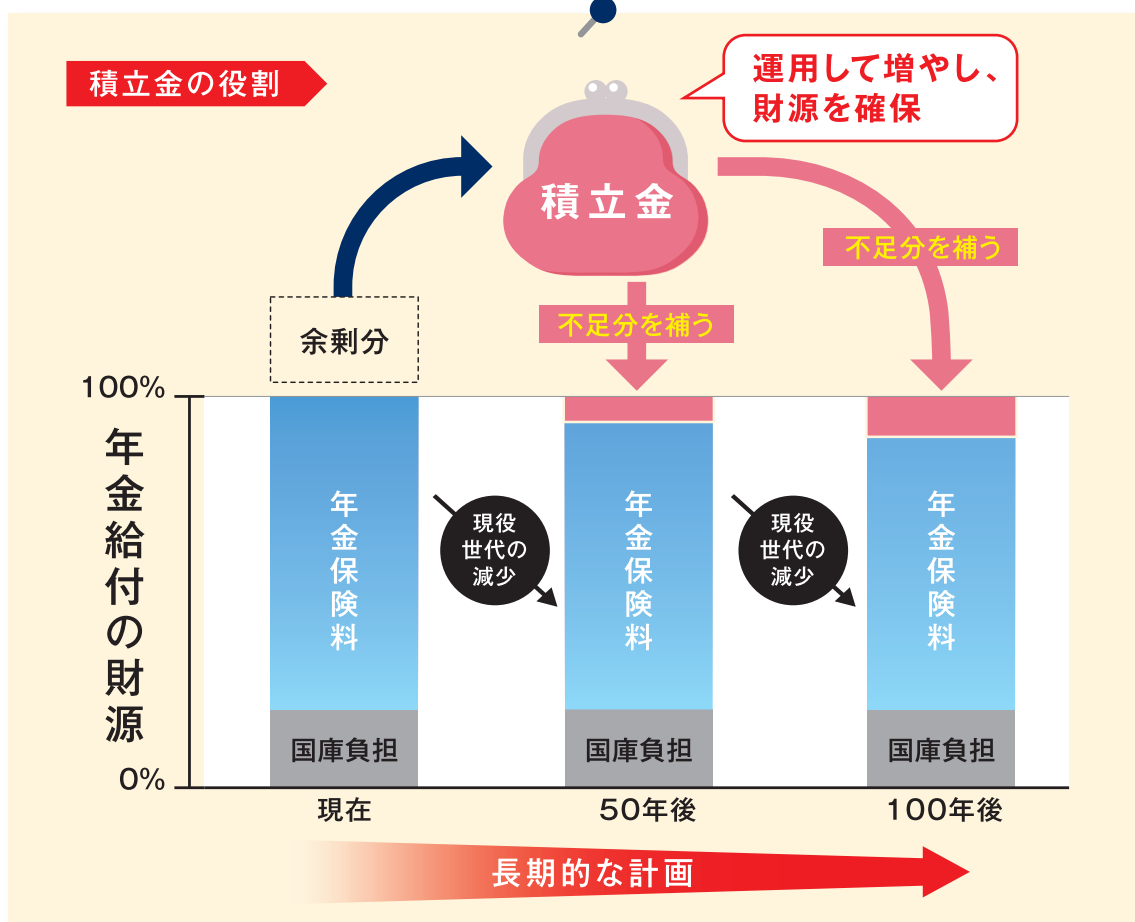
「積立金」の役割について、くわしく見てみましょう。



# 私たち「GPIF」は、未来の世代のためにお金を運用しています。

どんなお金を運用しているの？

現役世代が納めた年金保険料のうち、年金の支払いなどに充てられなかったものが、将来世代のために積み立てられています。年金財源全体のうち、積立金からまかなわれるのは1割程度です。



## 「GPIF」って何の略？



**G**overnment = 政府

**P**ension = 年金

**I**nterest = 投資

**F**und = 基金

「年金積立金を運用している公的な機関」を意味する英語から、頭文字をとっています。

GPIFが「よりよい運用」のために行っていることは？



# これからも安定して 収益を得ていくために、 GPIFはこんなことを心がけています。

## 長い目で投資をおこなう

短い期間では、運用によって得られる収益はプラスやマイナスに大きく振れる可能性があります。ですが、運用の期間が長くなるほど、プラスとマイナスが互いに打ち消し合うことで、年率平均の収益の振れ幅を小さくする効果が期待できます。

GPIFによる年金積立金の運用は、さまざまな資産を長期にわたって持ち続ける「長期運用」によって、安定的な収益を得ることを目指しています。

## 分散して投資をおこなう

運用する資産は、経済などの状況によってそれぞれの価値が変わるうえに、外国の資産の場合は円高や円安も収益に影響してきます。

ひとつの種類の資産だけでなく、国内外のさまざまな種類の資産に分けて投資をすることで、世界中の経済活動から収益を得ると同時に、大きな損失が発生する可能性を抑える効果が期待できます。

投資の世界には  
「卵は1つのかごに盛るな」ということわざも

1つのかごに  
まとめた場合

複数のかごに  
分けた場合

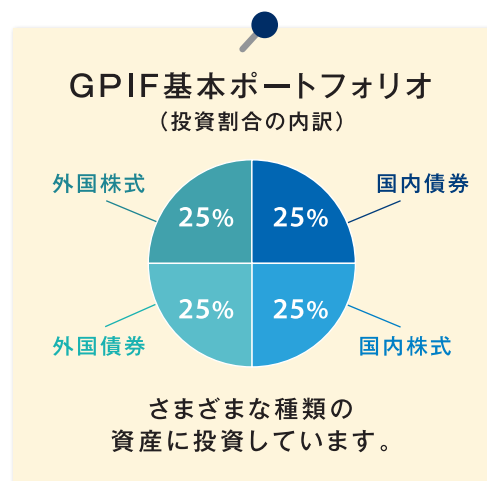
▼ もし落としてしまった時に… ▼

被害大

被害小

全て割れてしまう

他のかごは無事…被害を小さく

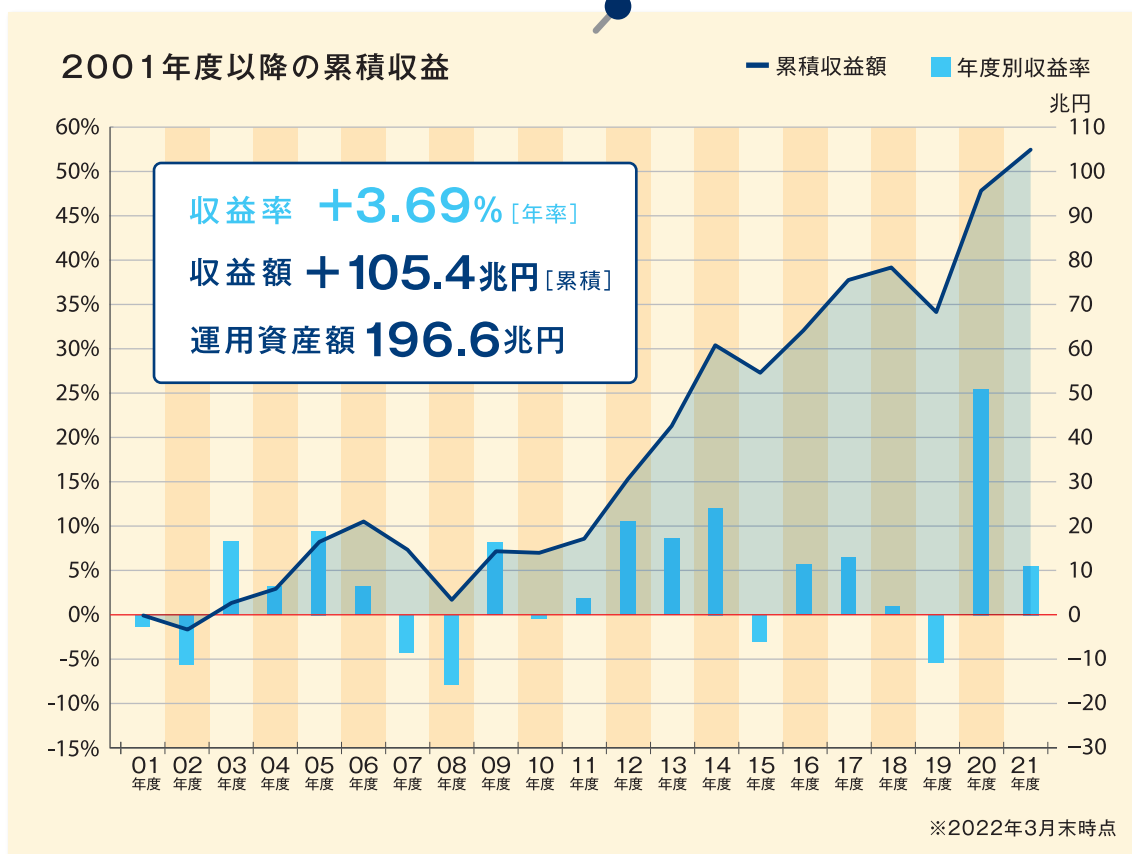


この「長期投資」と「分散投資」の組み合わせにより、  
収益の安定を目指しています。

現在の運用成果はどうなっているのでしょうか？



## これまでの運用の成果を チェックしてみましょう。



上のグラフは、2001年度からの運用状況です。2021年度末までの累積収益額は、約105.4兆円。この先も公的年金制度の中でしっかりと役割を果たすために、長い目線で安定的な運用に努めます。

### 今年の運用結果は、来年の年金に影響するの？

GPIFが運用している積立金は、将来世代の負担が大きくなりすぎないようにするためのお金です。よって、もし今年の運用結果がプラスでも、来年の年金支給額が増えることはありません。同じように、運用結果がマイナスでも、来年の年金支給額が減ることはありません。

## よくあるご質問

### Q1. 自分が納めたお金が年金として戻ってくるの？

**A.** 日本の公的年金制度は、現役世代が納める保険料で、その時々の高齢者世代に年金を給付する「世代間の支え合い」です。自分が納めたお金が、そのまま戻ってくるしくみにはなっていません。

くわしくはP2へ

### Q2. 少子高齢化が進むと、年金はどうなるの？

**A.** 高齢者や女性の就業が増加するなどの時代の変化を年金制度に反映することで年金制度の持続性は高まっていますが、加えて、年金積立金の活用により年金財政の安定化を図るしくみになっています。

くわしくはP3へ

### Q3. GPIFって何をする組織なの？

**A.** 年金給付のためのお金の一部を、将来の世代のために運用し、増やしています。

くわしくはP4、P5へ

### Q4. 今年の運用結果で、来年もらえる年金額は変わるの？

**A.** GPIFが運用しているのは「将来世代のための備え」のお金なので、今年の運用結果がプラスでもマイナスでも、来年に受けとる年金額に影響することはありません。

くわしくはP6へ

お問い合わせ

年金積立金管理運用独立行政法人 企画部 企画課

〒105-6377 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー 7階

TEL:03-3502-2486(ダイヤルイン) FAX:03-3503-7398

URL:<https://www.gpif.go.jp/>

